

【教育目標】

聖書の教えを基に個性を重んじ、徳育・知育・体育の円満な発達を図り、社会に貢献する人間性豊かな人物の基礎作りを目指す。

【目指す姿】

幼稚園：神を敬い、人を愛し、進んで奉仕する心を育成する。

教師像：キリストに倣って謙虚さを持ち、子どもを愛して公平な態度で接し、自分の弱さを克服しようと努める教師

園児像：思いやりと親切のある豊かな心、自ら考え行動する力、健やかな心と体を持った子ども

(評価A・85%以上 B・60%以上 C・40%以上 D・40%未満)

領域	評価項目	評価の観点	具体的目標	具体的方策	自己評価
幼稚園運営	子育ての支援	地域の子育て教育センターとしての役割を推進	地域の子育てネットワーク作りをする場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板やホームページなどを利用し、子育て井戸端の開催を地域に知らせる。 ・保護者同伴の未就園児教室を開き、交流の場とする。 ・幼稚園ガイドや子育てに関する小冊子などを自由に持ち帰ることができるようにする。 	B
	預かり保育	預かり保育の充実	長期休業中「夏期、冬期」に預かり保育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に必要な人員の確保をする。 	A
	小学校との連携	小学校との連携	姉妹校(三育小学校)との交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・芋植え、トマトの苗植え、収穫祭、体験授業、雪遊び等、園児・児童の交流の機会を多く計画する。 ・年長児が小学校に行き、小学生と一緒に活動して、小学校生活を体験する。 	A
	家庭や地域との連携	家庭や地域との連携	保育参観日、自由参観日、個人面接を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・園通信などを通して、保護者の参加を促す。 ・近隣の方々にも園通信を配布して、園の活動を知らせる。 ・町内会活動に率先して参加する。 	A
教育活動	聖書	愛する心の育成	神さまのことを学び、神さまに愛されていることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・聖句を月ごとに暗唱することで聖書の言葉に触れる。 ・聖書のお話を聞いて、神さまはみんなのことを愛しておられる事を学ぶ。 	A
	健康	より健康な体づくりの推進	体を動かす活動を取り入れ、身体機能を増進。病気の予防としての手洗い、うがいを励行。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師による、スイミング、リトミック、体育教室、サッカー教室を継続して行う。 ・外遊び、園外保育後には必ず手洗い、うがいをするように心がけさせる。 	A
	人間関係	異年齢での活動	マルチエイジクラスの研究と実践	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢活動を通して、年少を思いやる心、年長を尊敬する心を育成する。 	A
	環境	心身の健康な育成	子どもが活動しやすい空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイルーム(多目的教室)の整備をする。 ・自然素材で安全な遊具を整備する。 ・図書コーナーの整備をする。 	B
	言葉	元気よく挨拶 明るい返事	自分から「おはようございます」「さようなら」を言えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら「おはようございます」「さようなら」など大きな声で元気よく挨拶できるように奨励する。 ・名前を呼ばれたら「はい」と返事する。 ・バスの乗降時の挨拶を奨励する。 	A
	表現	音楽活動での表現力	賛美歌を取り入れる。動作や振り付けをつけて楽しく歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームを訪問して、歌のプレゼントをする。 ・クラスや園児礼拝で楽しく歌う。 ・発表会、クリスマス礼拝など保護者の前で歌う。 	A
	英語	異なる言語への関心	外国語(英語)に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の時間に楽しく参加する。 ・保育活動の中でも簡単な英語を使用する。 ・身近なところに英語やローマ字表記がある。 	A